

第 7 回八代地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
< 総合計画策定状況について >	
<p>これから一步踏み込むということは、どれくらいの期間がかかるのか。何でもずっと書いてあるが、ピンと来ない。例えば、これは5年間かけてやるのであれば、この項目は何年後にはやりますとかはまだか。</p>	<p>5 ヶ年で取組む施策は、まとめた形で書いているため分かりにくい部分もあるかもしれないが、施策の大綱よりは、少しは分かりやすく書く予定。今から取組むのは、さらに具体的に詰めていくという作業。これだけでは分からないだろうということが予想されるので、重点プロジェクトのなかで、5年間でどれをどれだけ取組むかということを書き、方向付けを行っていく。</p>
<p>あくまでも大筋であって、具体的なことは今後検討するのか。</p>	
<p>民間の場合は、計画に対して何月までに達成するとかを書く。民間を巻き込んでする場合は、その辺まで踏み込んだものがあれば皆、納得すると思う。</p> <p>ただ、ずっと立派なことを書いてあるが、</p> <p>将来の夢ばかりで、5 ヶ年の計画なら最低これとこれはやりたいとかそこまで踏み込んだものなら、我々もよそに行って説明できる。ある程度、非公式のときでもいいので、そこまで突っ込んだ説明を受ければ、会議に来てよかったなと思う。</p> <p>今回は難しいだろうが、あと2年後にはこうしたい、3年後にはこうしたいというのが出れば、教えて欲しい。今度は、そういう説明をお願いしたい。</p>	

<p>5年計画というのは分かるが、その中での優先順位というものがあると思う。一般の人にもそういう事が分かるように、納得いくような話し合いの場とかを持ってもらいたい。上の人たちばかり何回も会議をやるのではなく、地域住民の人たちとの交流の場所を設けて欲しい。</p> <p>市が取り組む姿勢を一般住民の人たちに市報だけでなく、直接的に示せば、一般住民ももっと協力的、前向きになると思う。</p>	<p>一般住民との交流の場が必要であるというご意見は、私たちもまったく一緒。一番下のほうに書いている計画推進の方策の右側に「協働によるまちづくりの推進」ということで、情報の共有化とか市民参画推進・協働と新たな自治の推進といったことを書いている。</p>
<p>取り組む中で、何かこれをしようと思ったときには、この計画上に成り立っていくものなのか。これをしたいという気持ちがあったときに、それもこの5カ年計画の中にスムーズに入っていくのか。</p>	<p>状況というのは常に変わるため、今の発言のような事案が出てくることが大いにあると思う。</p> <p>この計画は最初に説明した基本構想の精神に則った中での5カ年と計画ということになり、当然、見直しを5年経ったらやる。1番大きな方針の転換は基本的にはないだろうが、それより小ぶりの方針は5年に1回は必ず見直しを行う。そしてまた、これよりさらに小さい段階の計画もあるので、その段階で現状に合わせた変更は常にしていかななくてはならないというのが、まずこの計画の前提になる。そういった仕組みということでご理解いただきたい。</p>
<p>せっかく「健康都市宣言」をしても、この中にはそれが出てない。今後、市の方針として何かの形でやっていくのか。具体的には何をなさいたいというのが、まだ全然聞いてない。</p>	<p>向こう5カ年計画の中には、そういうものが色濃く盛り込まれたものが必要だと考える。この体系表から言うと、「郷土を拓く人を育むまち」の中の「スポーツに親しめるまちづくり」だとか「生涯を通じた学びのまちづくり」だとか、あるいは左側の「誰もが生き生きと暮らすまち」の中に、高齢者の支援、食育、あるいは健康づくりの推進、子育て支援、母子保健の向上、こういうものを项目的に予定をしている。おっしゃられたことも意識しながら、最終の詰めをしていきたい。</p>

<p>一番問題となっているのは、いじめ・子どもへの虐待。その問題も何かこの中に盛り込めればと思う。「八代の未来を担うひとづくり」のところで、家庭と学校と地域社会が連携した子どもの育成という中に入っていると思うが、その点も今後、具体的に出されるときは一応考えていただきたい。それから、防犯の問題も。地域ではほとんど防犯活動に出ている。そういうのも今後はこの中に入ってくると思うが、ぜひ入れて欲しい。</p>	
<p>一番大事なところ、一番知りたいところが、具体的な実施計画の部分。これがどの段階で、この地域審議会に説明してもらえるのか。決定した後なのか前の段階なのか。</p>	<p>いきなり実施が出てくるわけではなく、基本構想に連なって、今、基本計画を策定しているという状況。同じ流れで、その考え方・方向性を一致した段階で実施計画が出てくる。基本計画は、12月議会で報告するが、それと平行して実施計画の方は進めていく。いずれにしても、基本計画を定めておくというのが前提となる。</p>
<p>旧市時代、エコポート構想に関わり、その後にゴミ問題等検討委員会に変わった。両方とも市民から意見を聞いての会議だったが、エコポート構想は有耶無耶、ゴミ問題検討委員会も答申したが結論はあまり分かっていない。そこに今度は、循環型社会の推進が出てきて、従来を検討を踏み台にするのか、またゼロから新たなことをするのか。同じことの繰り返しで、結局、時間の無駄にならないようお願いをしたい。</p>	

<p>< 「住民自治によるまちづくり基本指針」について ></p>	
<p>「協働によるまちづくり」というのが、非常に曖昧模糊としている。そういう時代になって来たのは分かるが、市民がどこまで入り込むのか、どこに責任があるのか。歪んだ見方をすれば、行政からするといつでも逃げができる形のように思える。より具体的に詳しい定義付けをしないと、一般市民は理解できないのではないか。</p>	
<p>人口減の目標は13万人とたてているが、今の八代の税収がいくらなのか、この13万人になったときの税収見込みがどれだけのなのか。税収なくして立派な計画があってもいけない。だから、目標人口を13万人としているのであれば、現八代市の税収がいくらで、この年度に対しての税収はいくらになるというのが最初から分かっていたら考えやすい。</p> <p>2年後実施とか、3年後実施予定といったものがあれば、民間としてはものすごく会議に溶け込みやすい。難しいかもしれないし、説明しにくいと思うが、頭の中に入れておいてほしい。</p>	

<p>重点プロジェクトを5つ掲げているが、すべてキーワードは人だと思ふ。人口が減っているということもあり、人が集まるような八代市にすることが目的ではないかというのが根底にある。今、団塊の世代が沖縄や水俣に移住し、人口が増えているという事例もあるので、八代をアピールするような項目を一つ増やして欲しい。</p> <p>「安全で快適に暮らせるまち」で情報基盤の整備が入っているが、これはハザードマップとか地震や災害のときだけの様な感覚がする。「豊かさと賑わいのあるまち」の中にも共通して矢印をもう一つ増やし、情報通信技術のほうに項目を増やして連動させて欲しい。</p>	
<p>事業によっては、今まで以上の助成があるということか。今度から、地域で色々な活動をやれば助成金が増えるということなのか。</p>	<p>補助金がどれくらい各校区に交付されているかということ、全部集計しているところ。それを含めて、今後どういう形で交付すべきかを検討している。特に、新たな組織を作った場合、新たな取組みをされる際は、そういった事業も取組めるような補助制度を工夫し検討していきたいと考えている。</p>
<p>公民館まつりや運動会、体育祭、他にいろいろな子ども会とか防災訓練等行う場合に、イベントや人口規模に応じて、予算化されるということか。</p>	<p>協議会を作れば、その中でいろいろな年間画を立てられると思う。基本的には人口規模等もあるが、そこも含めて補助金のあり方について検討をしていきたい。</p>
<p>庁内(町内)では理解を得られているふうに承っているが、本当にそうなのか。ある一部には、まだまだ検討課題が山積しておりスタートが拙速すぎるのではないかという意見も随分あるように聞いているが大丈夫なのか。</p>	<p>基本指針に基づいて、実施計画を検討しているが、当然、実施計画がある程度理解を得た時点でないと先には進めないというような状況がある。できるだけご理解がいただけるような計画作りをしていきたいというように考えている。</p>

<p>庁内での理解が十分に得られているのか、拙速すぎるのではないかと聞いてみたい。私が一番心配しているのは、一回スタートしたらやり損ないをしないようにしてもらいたいというだ。しかし、十分な理解が得られていないらしい、まだ拙速に過ぎるというような空気が強いように聞いたが、どうなのか。</p>	<p>基本指針については、庁内の理解を得ている。政策会議で決定しているので、市の方針として確定をしている。後は、実施計画について、今後調整を図っていくということで進めていく。</p> <p>住民自治については、文字通り、行政が一方向的に押し付けるものではなく、住民自ら自分の地域をどうするのかと考えるものと基本的に考えている。したがって、地域審議会から2名ずつ委員を出していただき、議論し、それを基に基本指針を作った。</p> <p>補助額をどうするのか、組織をどうするのか、住民の理解は本当に浸透しているのか検討すると同時に、これから住民へ説明おしなければならぬと考えている。そのために、具体的な実施計画をこの基本指針の基に今から作っていく。助成額や、末端浸透するための組織作りをどう作っていくのかは、実施計画の中で表したい。実施計画の策定は、平成19年12月頃を予定しているので、出来上がり次第、懸念されている具体的な事柄について提示をさせていただきたい。お示したスケジュールで、これから進んでいくということで認識をいただきたい。</p>
<p>財源支援ということで、「安定した活動資金」と書いてあるが、今までの助成分もすでにカットが出ているじゃないか。本当に財政が厳しくなるというのは、みんなもう分かっているわけだから、この「安定した活動資金」という文言については、これは潤沢にもらえるというような受け方が懸念され、そこでまた争いが起こると思う。厳しいということは、八代市民全員が知っている。何か文言を変える必要があるのではないか。後から、5%カット、10%カットと言え、もう良い知恵を出す人間はいなくなる。</p>	

<p>待ったなしに、確実に進むのは事実か。</p>	<p>政策会議で基本指針については確認した。部長以上で、政策としてどうするのか確認をしたところ、方向的にはそういう方向で進んでいくと確認した。時期については、実施計画を説明する中で、もう少し煮詰めて欲しいとかもう少しスピードを緩めて議論が必要だという話になると、時期は若干前後してくる。</p> <p>何も一辺にスタートするわけではなく、大体まとまった地域から進めてく先行地区という形をとりたいと思っているので、一同にスタートすることにはならない。</p>
<p>住民へ説明をするということだが、この会場、この校区ではこの説明して、次の校区ではあの説明というように、説明が変わったりしないように、ぶれたら修正がつかないのできっちりした骨組みを持ってぶれないようにしてもらうのが一番である。</p> <p>私たちも多分これに携わるであろうことは想定できる。私たち現場の人間が、自信持って進められるようにしてもらいたい。</p>	<p>実施計画については、庁内で検討し確認を得た後に、地域審議会、校区、あるいは自治会をまとめていらっしゃる市政協力員さん方にもご説明申し上げ、確認が取れた時点で進めていきたいと考えている。</p>
<p>目的は十分わかるが、その手段のためにどうやって参加者を集めるのかが心配される。これだけ変わる事だから、皆さんにアピールして、各家族から最低1人は来てくださいというような感じではないと、なかなか難しいと思う。</p>	<p>できるだけ多く出て行って、説明をしたいと思っている。</p>
<p>総社協でも説明会をしてもらったほうがいい。</p>	